



マッスルスーツを着用し笑顔を見せる児童

南相馬市の原町二小で二日、着用型筋力補助装置「マッスルスーツ」の体験授業が行われた。

マッスルスーツ開発者で東京理科大学の小林宏さんが同校を訪れた。小林さんは四年生約三十人を前に「動けない人を動けるようにしたいという思いがあった」と開発に至った経緯などを語った。

引き続き、児童に実際にマッスルスーツを着用してもらった。村田舞桜（まおさん）、門馬晴香さん（の）は「自分の力がいらなくてすごいと思った」と笑顔を見せていた。

マッスルスーツはイノフィス（東京）が開発し、飯舘村などに工場を持つ菊池製作所（本社・東京）が製造している。